

## 防災先進都市の行方

防災対策の現状と今後について



を目指すなかで避難所や防災拠点の整備についても協議していく。また市民からの通報、道路パトロールにより情報収集を行い、危険箇所などの把握に努めている。状況に応じ、通行止めなどの対策を講じている。今年度、冊子型の防災手引きを作成し、全戸配布予定である。

議員

議会のなかでも避難所の建設という提言もあり、現状2年が経過し、予算もないし様々な課題もあるが、そのままでもいいのかと。常総未来創生プランの観点からも整合性がどうなのか。

市長公室長

避難所は大変重要である。先の水害の教訓を踏まえ、周辺自治体との連携を強化し、河川の氾濫、大地震なども想定した広域避難の体制に取り組んでいる。

議員

全国のモデルとなるような防災先進都市を目指すということ、防災と環境保全、それを重視したまちづくりである。市が考える防災の範囲はどこまでの範囲としているか。

防災危機管理課長

風水害から地震、人為的な事件事故での危機管理という意味で市の対応を定めている。

議員  
水害から丸2年が経過し、市の防災対策の現状を再確認したい。避難所の建設計画、防災、減災という観点から調査、把握、パトロールなどの実施や市民への周知、注意喚起をどのように行っているのか伺う。

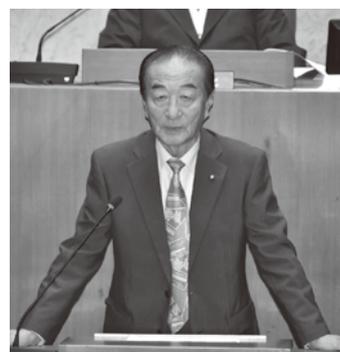
市長公室長

市では、小中学校や体育館など公共施設28カ所を一時避難所に指定している。避難所の建設計画は現時点ではないが、水害以降さまざまな意見、要望を受けており、今後、防災先進都市

□ 殿 園 圃 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 園 圃

## 市が誇れる場所になる

市民の広場の土地利用とカスミ旧店舗の跡地、その後について



副市長

現在のカスミ水海道栄町店のオープンに伴い、カスミ諏訪町店舗が撤退する旨、当時の市長に連絡があった。その中で市は水海道公民館を移設して、諏訪町店の跡地を市民の広場として活用することにより、中心市街地の核とした旨、話しをしていく。一方、カスミ側は市に全面的に協力し公民館を移設した場合、その跡地をカスミの駐車場に利用するなどの内容で、両者が確認している。その後、協議を重ねたが、先の水害により災害業務が主となるなどの理由から現在に至っている。私が引き続き、内容の整合性を確認し、5月にプロジェクトチームを立ち上げ、課題の整理や今後について4回の会議を実施した。特に公民館付属施設の武道館が文化財施設であることから、登録解除が大きな課題であり、解決できれば議会にお示ししたい。

議員

難しい点も色々あるが、今のまま放置するのは許されない事態。人が寄れば、当然これは必要になってくる。行政側も積極的に考えを出して、議会に報告をしていただきたい。